



“心を鍛える部活の一中”

3年生にとって引退をかけた最後の大会

一中生に大きな声援をお願いいたします！



伊勢崎市佐波郡中学校総合体育大会が始まります。本校の生徒は6月13日(土)を皮切りに各会場で熱戦を繰り広げます。部員の減少、部活動の地域展開等過渡期にある部活動ですが、部活動に取り組んでいる生徒や顧問の熱量は以前と変わりません。その集大成である総合体育大会がいよいよ幕を開けます。

5月28日(木)には、総体に向けた激励会が開催されました。品川PTA会長の激励に始まり、各部の選手から大会に向けた熱い意気込みが発表されました。続いて応援団からカー杯のエールが送られました。最後に教頭先生から、「あじさいの花は一つ一つの小さな花（正式にはガク）が集まってきれいな花となっている。一中生も一人ひとりが輝き、全員で団結して大きな花を咲かせよう」と熱いメッセージが送られると、全校生徒の気持ちが一つになり大会に向けた気運が高まりました。

大会では、仲間や保護者、地域の方々の声援が選手にとって大きなエネルギーとなります。各競技の日程等は別途配信いたしますが、ぜひ会場に足を運んでいただき、勝利を目指す一中生の頑張る姿に声援をいただければと思います。



【決意表明をする選手】



【応援団によるエール】

“中学校生活の一大イベント「修学旅行」「東京校外学習」”

生徒と教員の思いが結果に繋がりました！

中学生にとって、旅行・集団宿泊的行事は一大イベントです。大勢の仲間と遠く離れた場所に旅行することは、生徒にとって一生の思い出になります。一方、生徒の命を預かる教員にとっては、いかに全行程を安全に行うか、その中で生徒に楽しい思い出と今後に生かせる経験をどのように積ませるかで、非常にプレッシャーを感じる行事です。

今回、幸いだったことが二つあります。一つは天候です。両学年共に直前までは雨予報でした。しかし、当日は最低限の雨量で済み、逆に暑さによる熱中症の心配も減る好結果となりました。二つ目は、旅行中、大きな事件や事故に巻き込まれたり、生徒が大きく体調を崩すことがなかったことです。150名の生徒が参加すると必ずと言っていいほど、トラブルが発生したり、体調を崩す生徒が出たりします。しかし、今回は両学年共にそのようなことがありませんでした。非常に珍しいことです。これは、たまたまではなく、事前からこの行事を成功させようとする生徒と教師の強い思いがあったからこそできたことです。そして、旅行の準備や生徒の健康管理に配慮いただいた保護者の皆様の支えがあったからこそです。ありがとうございました。

生徒にとってこの上ない貴重な経験となった行事でした。行事を通じて学級・学年の絆も深まりました。更なる高みを目指して前進してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



【3年：北野天満宮で合格祈願】



【3年：新幹線デビュー】



【2年：雷門の大きさに圧倒】